

今週のビルマのニュース 2011年10月21日(1133号)

日本が外相を招待、ODA再開へ IMFがビルマ入り イラワディ川ダム工事止まらず？

【ビルマ国内・国際関係】

- ・ビルマの人権状況に関する国連特別報告者のキンタナ氏が19日、国連総会第三委員会で報告。少数民族との武力紛争が続く地域で強制労働や超法規的処刑など深刻な人権侵害が起きていることを指摘。また年末に予定される補選の実施までにすべての政治囚を解放するよう政府に改めて呼びかけた。(20日AFPほか)
- ・ビルマに関する米政府特別代表・政策調整者のミッチェル氏は17日、国務省でブリーフィングを行い、「民主主義実現への真の取り組みを示すには全政治囚の無条件釈放が必要」「少数民族住民に対する人権侵害が続く限り米国との関係が完全に正常化することはない」などと述べた。(国務省発表会見記録)
- ・ワナムウンルウィン外相が20日、日本政府の招待で来日。ビルマ外相の来日は16年ぶり。21日には玄葉外相と会談。玄葉氏はこれまで限定的に実施していた政府開発援助(ODA)を再開する方針を表明し、今後パルーチャウン水力発電所の補修工事と「人材開発センター」建設に向けてビルマに調査団を派遣する意向を伝えた(21日外務省)。またティンアウンミンウー副大統領が20日、中国ASEAN博覧会に出席するため中国に到着。滞在中、温家宝首相と会談する予定(20日イラワディ)。
- ・国際通貨基金(IMF)の技術チームが19日、ビルマに到着。為替制度の改善を始めとした経済・財政問題について政府関係者や経済界代表などと協議する予定(19日イラワディ)。IMFはこれまでも「四条協議」のため毎年ビルマを訪問してきたが、今回の訪問はビルマ政府の要請を受けてのもの。

【政府開発援助(ODA)】

- ・「日本NGO連携無償資金協力」贈与契約締結：母乳・補助食の栄養指導と生計向上支援事業のためセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに約2,800万円(9月28日)。

【注目アイテム】

- ・ヒューマン・ライツ・ウォッチ「訪日するビルマ外相に人権問題提起を 援助と貿易ではなく、政治囚問題こそが最優先課題」(20日プレスリリース) <http://www.hrw.org/node/102465>
- ・「中国建設中のダム中断発表後も工事続く 現地調査中の環境団体が報告 中国側作業指示の可能性も」(21日アジアプレス経由 Yahoo!Japan) <http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20111021-00000001-asiap-int>
- ・イラワディ川ミツソンダム現場で測量作業・関連道路建設が続いているとカチンの環境団体が報告。カチン開発ネットワーク・グループ「An update on the Irrawaddy Myitsone Dam Project」(14日)。
<http://www.kdng.org/publication/164-an-update-on-the-irrawaddy-myitsone-dams-project-.html>
- ・解放されたコメディアン、ザーガナーとのインタビュー(英語字幕付動画、2分半。国境なき記者団)
<http://en.rsf.org/birmanie-interview-of-newly-freed-dissident-17-10-2011,41215.html>

【イベント情報】([] 内は主催者。共催等は省略)

- ・[ビルマ民主化ネットワーク日本] ワナ・マウン・ルイン外相来日抗議行動(大使館前、22日14~16時)
- ・[国民民主連盟解放地域日本支部] 第12回ダディンジュ(燈明祭り)(木場公園、23日10時半~17時)
- ・[上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻] シンポジウム「東南アジアの難民と人の移動~カンボジアとビルマを事例に」第二部に根本敬(上智大学教授)、秋元由紀(ビルマ情報ネットワーク)(上智大学四谷キャンパス中央図書館9階L-921、26日17時半~)
- ・[アムネスティ・インターナショナル日本] 『This Prison Where I Live わたしが住む、この監獄』上映&元ビルマ政治囚による講演(日本大学法学部三崎町キャンパス3号館350教室、11月6日14時~17時半)
*元政治囚による講演は名古屋、新潟などでも開催。詳しくはアムネスティのウェブサイトを参照。

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>